

発生動向の概況

夏季に流行する感染症（咽頭結膜熱（プール熱）、手足口病、ヘルパンギーナ（夏かぜの一種）など）が減少し、冬季に流行する感染症（RS ウイルス感染症、水痘（みずぼうそう）など）が増加傾向です。

RS ウイルス感染症は県内全域で発生し、増加しています。例年 11 月頃に患者数が増加し始め、冬期に流行する疾患ですが、今シーズンは 1 ヶ月程早く 10 月初旬から増加してきました。全国でも同様に、例年よりも早く患者数が増加しています。この疾患は、6 ヶ月未満の乳児期では重症化しやすく、肺炎や気管支炎を引き起こすことがあります。うがい・手洗いによる予防と早めの受診を心がけましょう。

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎は中予及び今治地区で多発し、例年どおりの動向で増加してきました。現在、県内では例年並みの発生（第 42 週定点当たり 0.9 人、過去 10 年間平均 0.9 人）ですが、全国では第 41 週に定点当たり 1.18 人で、過去 10 年間の同時期（平均 0.65 人）と比べ最も多い状況となっています。症状は、発熱と全身倦怠感、咽頭痛などで、しばしば嘔吐を伴います。主な感染経路は患者との接触感染や飛沫感染ですので、咳エチケットを守り、うがい・手洗いを励行してください。また、まれに重症化する可能性がありますので、喉の痛み、発熱など症状が出た場合は医療機関を受診しましょう。

手足口病は 9 月以降の西条地区の多発が収まり減少しました。水痘（みずぼうそう）は第 42 週に西条地区で急増しています。流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）は南予での多発が依然続いています。マイコプラズマ肺炎は例年に比べやや発生の多い状況が続いています。

県内での感染症発生状況

全数把握感染症（結核は除く）

三類感染症 : 細菌性赤痢 1 例（海外での感染）
五類感染症 : 急性脳炎 1 例
麻しん 1 例（30 歳代 男性）

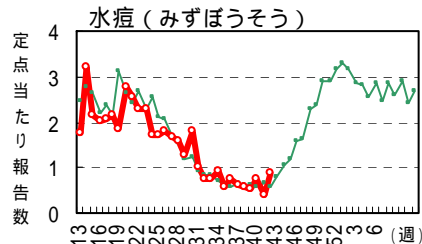
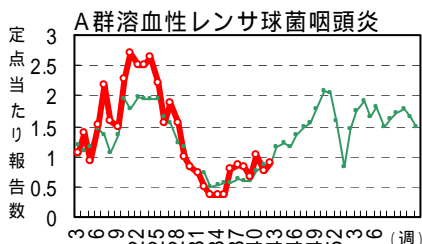
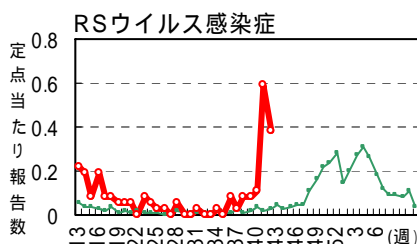
定点把握感染症（数字は最新週の定点当たり報告数、発生地区は保健所名を記載）

	愛媛県推移	県内の傾向
RS ウイルス感染症	↗ 0.4	例年よりも 1 ヶ月程早く増加傾向が現れている。東中予で発生している。
A 群溶レンサ球菌咽頭炎	↗ 0.9	例年どおりの動向で増加傾向。中予及び今治地区で増加。
水痘	↗ 0.9	第 42 週に西条地区で急増した。
流行性耳下腺炎	→ 0.6	ほぼ横ばいで推移。南予の多発が続いている。
マイコプラズマ肺炎	↗ 1.5	県内全域で発生している。例年よりも多発している。

解析評価委員のコメントから

- RS ウイルス感染症 : 徐々に増えているようです。乳幼児の気管支炎、細気管支炎が増えています。（中予）
- 感染性胃腸炎 : ウイルス性のもみられますが、サルモネラ等の細菌性のももできてきています。（東予）
細菌性腸炎の中では、カンピロバクターの頻度が高いようです。散発例だけでなく、集団食中毒も報告されています。（中予）
- 流行性耳下腺炎 : 宇和島、八幡浜・大洲地区で多発しています。（南予）
- 細菌性髄膜炎 : 現在、当科に細菌性髄膜炎の症例が 1 人入院中です。髄液からはインフルエンザ菌を検出しています。（南予）
- マイコプラズマ肺炎 : 肺炎まではいかなくても、マイコプラズマ感染症は一部地域で流行しています。（東予）
多発している施設（保育所）があるようです。（中予）

過去 30 週の動向 (—○— : 過去 30 週の動向、 —●— : 過去 10 年の平均)



(注) 本情報での患者数は届出医療機関所在の保健所での集計で、患者の住所を示すものではありません。
感染症情報に関するご意見、ご質問は eikanken@pref.ehime.jp までお願い致します。

🌸🌸インフルエンザの予防接種を受けましょう！🌸🌸

インフルエンザの予防接種が始まりました。インフルエンザの予防方法としては、うがい・手洗いや体調管理といった一般的なかぜ予防も重要ですが、ワクチンの接種により重篤な合併症を予防し健康被害を最小限にとどめることが期待されています。愛媛県内はまだ散発程度の発生で、全国でも流行の兆しはみられませんが、ワクチンを接種してからインフルエンザに対する抵抗力がつくまでに2週間程度かかりますので、流行期を迎える前に予防接種を受けましょう。特に高齢者や基礎疾患のある方は、かかりつけ医と相談の上、早めに予防接種を受けましょう。

病原体検出情報

宇和島地区で第38週に採取された無菌性髄膜炎患者検体からコクサッキーウイルスA9型(CA9)とコクサッキーウイルスB5型(CB5)が検出されています。県内の無菌性髄膜炎患者からはCB5、エコーウイルス30型が検出されていますが、今回CA9が初めて検出されました。また、CB5は、4月以降検出数が最も多く、無菌性髄膜炎、熱性疾患、上・下気道炎等さまざまな疾患から検出されており、長期間にわたり各種疾患の主要な病因になっているものと考えられます。

感染性胃腸炎では、10月4日～10月16日の間に採取された14検体について検査した結果、アデノウイルス及び下痢原性大腸菌が各1例検出されています。

過去5週 検出病原体

(9月15日以降採取検体)

週	採取期間	発生地区	臨床診断名	検出病原体	検体	例数
38	9/15～9/21	松山市	感染性胃腸炎	アデノ	糞便	1
		宇和島	無菌性髄膜炎	コクサッキーA9	髄液	1
				コクサッキーB5	糞便	1
41	10/6～10/12	松山市	感染性胃腸炎	アデノ	糞便	1
42	10/13～10/19	松山市	感染性胃腸炎	下痢原性大腸菌	糞便	1

月別病原体検出結果

臨床診断名別検出結果 (2008年8月以降採取検体)

検出病原体	2008						合計	
	5	6	7	8	9	10		
ウイルス	コクサッキーA9				1		1	
	コクサッキーA10		1	1			2	
	コクサッキーA16		1				1	
	コクサッキーB5	2	7	3	1	1	14	
	エコー30			2		1	3	
	インフルA香港	1					1	
	ムンプス			1			1	
	ロタ	1	1				2	
	ノロ	7	4	1			12	
	アデノ	3	1			1	1	6
アデノ1			1				1	
アデノ3	1	1	4				6	
アデノ5	1						1	
ウイルス計	16	16	13	1	4	1	51	
細菌	下痢原性大腸菌		1				1	2
	カンピロバクター			2				2
	A群溶レン菌	3	5	1		1		10
	G群溶レン菌			1				1
	百日咳菌	5						5
細菌計	8	6	4		1	1	20	

検出病原体	溶 レ ン 菌 咽 頭 炎	感 染 性 胃 腸 炎	無 菌 性 髄 膜 炎	下 気 道 炎	合 計
コクサッキーA9			1		1
コクサッキーB5			2		2
エコー30				1	1
アデノ		2			2
ウイルス計		2	3	1	6
下痢原性大腸菌		1			1
A群溶レン菌	1				1
細菌計	1	1			2

愛媛県 定点把握五類感染症 2008年 第 42 週 (2008.10.13 ~ 10.19)

患者報告数		1) インフルエンザ	小児科定点										眼科定点		基幹定点						
			RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	菌咽頭炎	A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	2) 細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎		3) マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
保健所別	四国中央			1		13	2											3		四国中央	
	西条		2		3	17	14	7		7		1								西条	
	今治	1	7	5	7	13	3	2		2		1		2				3		今治	
	松山市		4	5	14	50	8	7		8		1	12	3	-	-	-	-		松山市	
	松山			5	9	25	1	10		3										松山	
八幡浜					6	2	5		5			6	1					3		八幡浜	
	宇和島		1			3			1			5								宇和島	
週推移	愛媛県	1	14	16	33	124	33	31		26		3	23		6			9		愛媛県	
	1週前	1	22	19	28	133	15	52		36	1	5	29		13			11		1週前	
	2週前		4	16	38	140	27	80		27	2	4	29		9		1	3		2週前	
	3週前		3	23	25	146	19	66		39	1	12	17		18			5		3週前	
年齢別	0-5ヶ月		4			1	1													0	
	6-11ヶ月		1			16	1		15		1								4	1-4	
	1		4	5		21	11	8		9			3	1				2	5-9		
	2		4	3		8	5	4		1		1	5					2	10-14		
	3		1	2	4	16	4	9		1			3							15-19	
	4			1	2	14	7	3					4							20-24	
	5			2	4	10	1	4					4							25-29	
	6				8	8	1	1				1	1							30-34	
	7				7	7	1	1					1							35-39	
	8			1		4	1													40-44	
	9			2		2		1					2							45-49	
	10-14	1			7	10														50-54	
	15-19				1																55-59
	20-29 ⁴⁾					7															60-64
	30-39													1				1			65-69
40-49																				70-	
50-59													1								
60-69													3								
70-79 ⁵⁾																					
80-																					

定点当たり報告数

保健所別	四国中央			.3		4.3	.7							-	-			3.0		四国中央	
	西条		.3		.5	2.8	2.3	1.2		1.2		.2									西条
	今治	.1	1.4	1.0	1.4	2.6	.6	.4		.4		.2		2.0				3.0		今治	
	松山市		.4	.5	1.3	4.5	.7	.6		.7		.1	1.1	1.0	-	-	-	-			松山市
	松山			1.3	2.3	6.3	.3	2.5		.8											松山
八幡浜						1.5	.5	1.3		1.3			1.5					3.0		八幡浜	
	宇和島		.3				.8			.3			1.3							宇和島	
愛媛県	.0	.4	.4	.9	3.4	.9	.8		.7		.1	.6	.8					1.5		愛媛県	

- 1) 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。 2) 髄膜炎菌性髄膜炎は除く。 3) オウム病を除く。
 4) 小児科定点疾患については20歳以上の全患者数を"20-29"に計上。 5) 眼科定点疾患については70歳以上の全患者数を"70-79"に計上。

(参考) 保健所別定点数

定 点 数	愛媛県	四国中央	西 条	今 治	松山市	松 山	八幡浜	宇和島
インフルエンザ定点	61	5	10	8	17	7	7	7
小児科定点	37	3	6	5	11	4	4	4
眼科定点	8	-	1	1	3	1	1	1
基幹定点	6	1	1	1	-	1	1	1

注) 表中の報告数は10月22日集計分であり、その後の報告数は次週以降に反映されます。

愛媛県 定点把握五類感染症 2008年 第 41 週 (2008.10.6 ~ 10.12)

患者報告数		1) インフルエンザ	小児科定点										眼科定点		基幹定点					
			RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	菌咽頭炎	A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	2) 細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎		3) マイコプラズマ肺炎
保健所別	四国中央			1		8	2	2		3			1					6		四国中央
	西条		10	3	2	25	2	30		11				1						西条
	今治	1	7	6	10	26	3			8	1		2	8				1		今治
	松山市		4	3	10	50	8	10		6		3	10	2	-	-	-	-		松山市
	松山			4	6	16		8		3			7	1				1		松山
八幡浜				1		7		2		3		1	4				3		八幡浜	
	宇和島		1	1		1				2			5						宇和島	
週推移	愛媛県	1	22	19	28	133	15	52		36	1	5	29	13			11		愛媛県	
	1週前		4	16	38	140	27	80		27	2	4	29	9			1	3		1週前
	2週前		3	23	25	146	19	66		39	1	12	17	18				5		2週前
	3週前		3	23	30	121	21	77	2	45	2	8	15	15			1	3		3週前
年齢別	0-5ヶ月		4			3	1			4										0
	6-11ヶ月		4			17	3	1		21								6		1-4
	1		7		3	24	3	10		8		2	1				3		5-9	
	2		3	5		13	2	10		3	1	1	4	1			1		10-14	
	3		2	1	3	17	2	8				1	4						15-19	
	4	1	2	4	2	12	1	6					5						20-24	
	5			3	4	11		6					4						25-29	
	6			5	2	9	1	5					4						30-34	
	7			1	3	5	1	2					3					1	35-39	
	8				4	7		1					1							40-44
	9				1	4	1	2					1							45-49
	10-14				6	11		1					1							50-54
	15-19																			55-59
	20-29 ⁴⁾												1		5					60-64
	30-39														2					65-69
	40-49														1					70-
50-59														3						
60-69																				
70-79 ⁵⁾														1						
80-																				

定点当たり報告数

保健所別	四国中央		.3		2.7	.7	.7		1.0			.3	-	-			6.0		四国中央	
	西条		1.7	.5	.3	4.2	.3	5.0		1.8		.2		1.0					西条	
	今治	.1	1.4	1.2	2.0	5.2	.6		1.6	.2		.4		8.0			1.0		今治	
	松山市		.4	.3	.9	4.5	.7	.9		.5		.3	.9	.7	-	-	-	-		松山市
	松山			1.0	1.5	4.0		2.0		.8			1.8	1.0				1.0		松山
八幡浜			.3		1.8		.5		.8		.3	1.0	1.0				3.0		八幡浜	
	宇和島		.3	.3		.3			.5			1.3							宇和島	
愛媛県	.0	.6	.5	.8	3.6	.4	1.4		1.0	.0	.1	.8	1.6				1.8		愛媛県	

- 1) 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。 2) 髄膜炎菌性髄膜炎は除く。 3) オウム病を除く。
 4) 小児科定点疾患については20歳以上の全患者数を"20-29"に計上。 5) 眼科定点疾患については70歳以上の全患者数を"70-79"に計上。

(参考) 保健所別定点数

定 点 数	愛媛県	四国中央	西 条	今 治	松山市	松 山	八幡浜	宇和島
インフルエンザ定点	61	5	10	8	17	7	7	7
小児科定点	37	3	6	5	11	4	4	4
眼科定点	8	-	1	1	3	1	1	1
基幹定点	6	1	1	1	-	1	1	1

注) 表中の報告数は10月16日集計分であり、その後の報告数は次週以降に反映されます。

全国 定点把握感染症 第40、41週 (2008.9.29 ~ 10.12)

(定点当たり報告数)

	1)	小児科定点											眼科定点		基幹定点				
		RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	2) 細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	3) クラミジア肺炎	
40週	愛媛県	.1	.4	1.0	3.8	.7	2.2		.7	.1	.1	.8		1.1		.2	.5		
	近畿県	香川県	.0	.5	.3	.4	3.8	.3	.2		.8		.3	.2					
		徳島県	.1	1.4	.3	.4	2.0	.8	.2	.0	.8		.2	.1					
		高知県	.5	.3	.5	2.1	.3	1.6	.1	.7		.1	1.6		.7	.1			
	全 国	.0	.4	.2	1.1	3.0	.4	1.1	.0	.7	.0	.4	.4	.0	.6	.0	.0	.4	.0
	北海道	.2	.2	1.8	1.2	.4	1.9	.0	.4	.0	.9	.1		.2			.7		
	東北	.2	.1	1.0	2.1	.4	1.4	.1	.6	.0	.6	.3		.3	.0	.0	.8	.1	
	関東	.0	.2	.1	1.2	2.9	.4	1.1	.1	.7	.0	.3	.4	.0	.7	.0	.1	.3	
	甲信越北陸	.4	.3	1.3	3.1	.4	1.7	.1	.6	.1	.6	.3	.0	.2	.0	.0	.3	.1	
	東海	.0	.2	.2	1.1	2.9	.4	1.0	.0	.6	.0	.1	.6	.0	.4		.0	.3	.1
近畿	.0	.5	.1	1.0	3.0	.3	.7	.0	.6	.0	.2	.4	.0	.4	.1	.0	.3		
中国四国	.0	.4	.3	.8	3.4	.4	1.0	.0	.7	.0	.3	.4		.6	.0	.0	.2		
九州沖縄	.0	1.3	.4	1.0	3.8	.5	1.2	.0	.9	.0	.6	.7	.0	1.3	.0	.0	.2		

(2008.10.8集計)

41週	愛媛県	.0	.6	.5	.8	3.6	.4	1.4		1.0	.0	.1	.8		1.5			1.8	
	近畿県	香川県	.0	.8	.3	.2	3.5	.1	.4		.3	.0	.4	.3		.3			
		徳島県	.9	.1	.6	1.2	.3	.1		.9		.0	.1						
		高知県	.5	.2	.6	2.1	.4	1.6		.5		.1	1.7		.3			.1	
	全 国	.0	.5	.2	1.2	3.1	.6	1.1	.0	.7	.0	.3	.4	.0	.6	.0	.0	.5	.0
	北海道	.2	.3	2.2	1.6	.8	1.8	.0	.5	.0	.6	.1		.2			.2		
	東北	.3	.1	1.0	2.4	.9	1.3	.2	.7	.0	.5	.3	.0	.3	.0		1.2	.1	
	関東	.0	.3	.1	1.5	3.1	.6	1.1	.1	.7	.0	.2	.4	.0	.7	.0		.4	
	甲信越北陸	.4	.3	1.2	3.1	.6	1.2	.0	.5	.0	.4	.3		.3	.0	.1	.3	.2	
	東海	.0	.3	.2	1.2	3.1	.5	1.1	.0	.7	.0	.1	.6		.4		.5	.1	
近畿	.0	.6	.2	.9	3.3	.4	.7	.0	.6	.0	.2	.3	.0	.3		.0	.2		
中国四国	.0	.5	.2	.7	3.6	.4	.8	.1	.7	.0	.2	.4	.0	.6		.0	.5		
九州沖縄	.0	1.7	.4	.9	3.6	.5	1.1	.0	.9	.1	.6	.6		1.1	.0	.0	.3	.0	

(2008.10.15集計)

1) 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除く。

2) 髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

3) オウム病を除く。

全国 全数把握感染症 第40、41週 (2008.9.29 ~ 10.12)

疾病名	二類		三類感染症					四類感染症														五類感染症																				
	(1) 急性灰白髄炎	(2) 結核	(1) コレラ	(2) 細菌性赤痢	(3) 腸管出血性大腸菌感染症	(4) 腸チフス	(5) パラチフス	(1) E型肝炎	(3) A型肝炎	(4) エキノコックス症	(6) オウム病	(10) Q熱	(12) コクシジオイデス症	(18) つつが虫病	(19) デング熱	(23) 日本紅斑熱	(24) 日本脳炎	(28) ブルセラ症	(30) 発疹チフス	(32) ボツリヌス症	(33) マラリア	(34) 野兔病	(35) ライム病	(39) レジオネラ症	(40) レプトスピラ症	(1) アメーバ赤痢 (E型及びA型肝炎を除く)	(2) ウイルス性肝炎	(3) 急性脳炎	(4) クリプトスポリジウム症	(5) クロイツフェルト・ヤコブ病	(6) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症	(7) 後天性免疫不全症候群	(8) ジアルジア症	(9) 髄膜炎菌性髄膜炎	(10) 先天性風しん症候群	(11) 梅毒	(12) 破傷風	(13) ウルソマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	(14) パンコマイシン耐性腸球菌感染症	(14-2) 風しん	(14-3) 麻しん	
全 国	635		1	11	172	7	1	2	6		2	1		10	6				3				23	3	18	7	6		1	3	34	2			16	4		4	3	29		
第40・41週報告数	四 国	愛媛県	11													2																									1	
		香川県	1			4																																				
		徳島県	3																																							
		高知県	5																																							
ブロック別	北海道	21			3		1	1																																		
	東北	71		1	19		1			1													2			1	2													1	1	
	関東	272	1	7	43	2	1		1					2						3				11	1	11	1	2										5	1		1	18
	甲信越北陸	21			10																			3																	1	1
	東海	58		1	15	2							1		4	2								1		3		1									3	1		1	1	
	近畿	72		1	24	3			2						2									3		2	1			1								2		2	5	
	中国四国	52			16			1							1	4								1		1	3												1		1	
	九州沖縄	68		1	42			1		1					1									2	2																	2
	週推移	全 国	41週	299	1	5	98	3		1	2				2					1				8	1	7	4	2		1	1	13	1			5	3		1	2	13	
40週		336		6	74	4	1	1	4		1			8	6				2				15	2	11	3	4		2	21	1			11	1		3	1	16			
39週		261		3	59	2			1				1	2	5	1			1	3			12	1	10	1	1		1	1	17			5	1				1	12		
38週		196		6	131	1			2					2	2				2				10	4	9		2		3	1	19			6				2	1	15		
2008年累積数	全 国	1 21153	44	250	3695	46	25	35	147	12	7	3	2	125	80	71	2	4		2	43	4	4	701	23	666	181	149	8	118	98	1180	65	10	1	640	98		66	279	10841	
	四 国	愛媛県	195		1	28																		3		9	4	1		2	1	6				8	1			1	42	
		香川県	153			28				1											1			6		3		1				10			7				1	10		
		徳島県	165			11											2							2		1					1	2				1	1		1	3		
		高知県	123			4											1							6				4	2			3	1			4	3		1	1	5	
	ブロック別	北海道	1 557		6	98	2		13	6	10													21		16	2	9		3	1	25	1	1			9	8		4	11	1451
		東北	1440	4	11	446			3	13		4	1	55	4	1				1	2	3		60	1	33	8	8	2	9	4	24			20	9			1	10	289	
		関東	7490	25	106	869	22	12	11	54		1	1	1	13	38	6	1	1		1	31	1	2	191	6	281	48	34	5	39	29	588	38	4	1	235	29		28	101	6316
		甲信越北陸	928	8	11	339			1	3					14	3							1	78		32	9	14		9	11	31	2			28	6		2	17	158	
		東海	2791	2	13	349	6	5	4	14	1		1	5	15	15	1	3			4			104	1	72	14	13		17	14	132	3		103	15		15	26	499		
近畿		3484	1	29	562	12	6	1	29		1		1	1	12	6				1			132		150	51	35	1	19	20	247	11	3		78	7		6	42	802		
中国四国	1765		5	326	1			15					9	2	21							70		38	29	15		10	5	62	5		43	7		4	35	366				
九州沖縄	2698	4	69	706	3	2	2	13	1	1			28	6	22							2		44	20	21		12	14	71	5	2		124	17		6	37	960			

・医療機関での診断日をもとに集計。集計日以降の報告数は、次週以降の累積に反映されます。

・2008年5月12日からの法改正に伴い、疾病の名称及び並び順を一部変更しました。

(2008.10.15集計)